

## 除染対策グループ



▲除染の様子

【除染】一般住宅などの除染作業を、同意をいただいた住宅から開始し、現在の進捗状況は8月21日現在で97.2%となっております。

また、生活圏の20m範囲の森林除染につきましては、92.2%が終了しておりますが、仮々置場の枝木の減容施設作業スペースの関係で倒木などの搬出が遅れている状況です。

また、平成25年度事業の生活圏道路の沿線から20m範囲の除染、家屋敷地に隣接している空地、原野、雑種地、墓地の除染、未同意箇所の除染、更には、線量の低減が図られなかった箇所の再除染は、平成25年6月24日に、清水建設株式会社東北支店と委託料31億8150万円で契約を締結し、現在は、子どもたちが住んでいる家屋敷地に隣接している空地等を先行して除染を行っています。

## 復興建設グループ



▲起工式の様子

【災害公営住宅】敷地造成が完了し、木造1戸建て住宅10棟および鉄筋コンクリート2階建ての集合住宅4棟について平成26年9月完成を目指し建築工事を発注しました。

【道路】久保田一号線において、JRこ道橋新設工事の協定を締結しました。

## 教育グループ



▲プールの授業が再開しました

【プール再開】東日本大震災とこれに伴って発生した福島第一原子力発電所の放射能事故以来、広野小学校および広野中学校のプール施設については使用を自粛していましたが、本年度よりプール活動授業を再開するため、高圧洗浄などによる除染作業および清掃作業を行い、さらには、水質検査を行うなど安全性を確認した上で、本年7月1日両校共にプール開きを行い、3年ぶりに本校でのプール授業を再開しました。

## 産業グループ



▲サマーフェスティバル2013に出演したフラガールのみなさん



▲直売所再オープンの様子

【農業】3年ぶりとなる水稻の作付けについては、6月12日から水田の全筆調査を行い、作付け農家101戸、作付面積約111ヘクタールを確認しました。水稻の生育については、現在のところ順調に生育し、ほぼ平年並みの収穫が見込めるところまで来ました。

また、イノシシ用電気柵の配布を行いました。当初予定していた数量では不足する事態となり、今補正予算に電気柵購入費を計上しました。

また、7月27日にはニッ沼直売所が再オープンしました。本町の新鮮農産物の販売が再開されることは、町の復興にとりましても大きな一歩と考えております。

【観光】7月21日・22日にいわき市で開催されたプロ野球オールスターゲームと同時開催した「ふくしま復興祭」に、ニッ沼直売所利用組合とニッ沼総合公園内レストランの西料理長が出店しました。8月11日には「広野町サマーフェスティバル2013」を広野駅南駐車場をメイン会場に開催し、3千人を超える方々の来場がありました。

## 建設グループ



▲多くの方々がクリーンアップ作戦に参加しました

【道路】復興計画に関連する道路整備事業・橋梁整備事業については、測量設計業務を発注し、福島県事業との調整を図り作業を進めております。

また、駅東側開発整備事業に伴い進入路となる町道下浅見川線については、平成26年1月の完成を目指し工事に着手いたしました。

また、6月23日には、3年ぶりとなるクリーンアップ作戦を浅見川下流域で実施しました。